

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス名谷教室			
○保護者評価実施期間	2024年10月1日		～	2024年10月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25家庭	(回答者数)	21
○従業者評価実施期間	2024年10月1日		～	2024年10月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2024年11月1日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童が興味を持って取り組める支援内容を行っている。このことにより、利用児童が楽しんで活動に参加出来ている。	ビジョントレーニングと運動療育を軸に支援を行っている。ビジョントレーニングでは児童の関心に合わせて教材を工夫し、興味を持って取り組めるようにしている。運動では内容が単調にならないように、競争する場面や運動遊びを組み入れている。	マッチング教材にアンパンマンなど児童の好きな教材を利用したり、数字の好きな児童には電卓遊びや数字遊びから導入するなどを行う。
2	学校休業日に非日常的な活動を行い社会性を伸ばすことが出来るように取り組んでいる。	公共機関見学を行い行動マナーを学ぶ、地域のイベントに参加しコミュニケーション力を伸ばす、また調理実習で生活力を身に着ける等のねらいを持って支援をしている。	外出時に、点呼係、声掛け係などの役割分担を行い一人ひとりの意識の向上を図る。引き続き児童と保護者のニーズに応じた活動を行う。
3	訓練室の広さをいかし活動的な内容の療育を行える。また、一人当たりの活動スペースを十分に確保できるので諸活動をのびのびと行える。	運動や活動的な活動を多く取り入れることで、エネルギーの発散を促し情緒の安定につなげたり適度な身体の疲れをおこすことで良質な睡眠に結び付けるなどの目的を持って支援している。	室内サーキットや長縄大会など児童が自然に体を動かしたくなるような内容を工夫する。活発に体を動かすことによって起こることが予想される接触や転倒などの怪我の予防に配慮する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会など保護者間の交流、情報交換の場が設けられていない。家族支援プログラムやペアレントトレーニングが十分に行われていない。	父母の会やペアレントトレーニングを行うための、職員間の研修や専門的知識の蓄積、会の運営の為の準備が十分に出来ていない。	保護者の期待されている会の内容を把握する。また職員間の研修の充実を充実させ専門的知識をより深く学ぶ。外部より講師を招くことも検討する。
2	放課後児童クラブ、児童館との交流などを通して地域の子供たちとの交流ができていない。	学童クラブや児童館の運営状況等を把握していないため、地域の子供たちとの交流の方法について考えが及んでいない。	交流について学童クラブや児童館に意見を伺い、実施可能な手立てを考える。地域交流の一環として地域神社の行事に参加しているが保護者へ周知出来ていない。
3	新しい個別支援計画に記載されている「本人支援」「移行支援」「家族支援」について手立てや内容説明が十分になされていない。	個別支援計画の記載方法が変わったことを十分にお知らせできていない。保護者面談時に各支援について深く説明できていなかった。	面談時に「本人支援」「移行支援」「家族支援」について手立てや内容説明を行い理解を得る。